

“世界初”の技術を活かし、 グローバルに拡販

太陽誘電グループは、コンデンサを中心にさまざまな世界初の商品を生み出し、グローバルに生産・販売を行っています。

強み

世界初の商品を生み出す 技術力

当社は創業以来、素材の開発から製品化を行うことを信条として研究・開発に取り組み、数々の世界初となる商品を生み出し続けています。

- 

1984
世界初のニッケル電極大容量積層セラミックコンデンサを商品化
- 

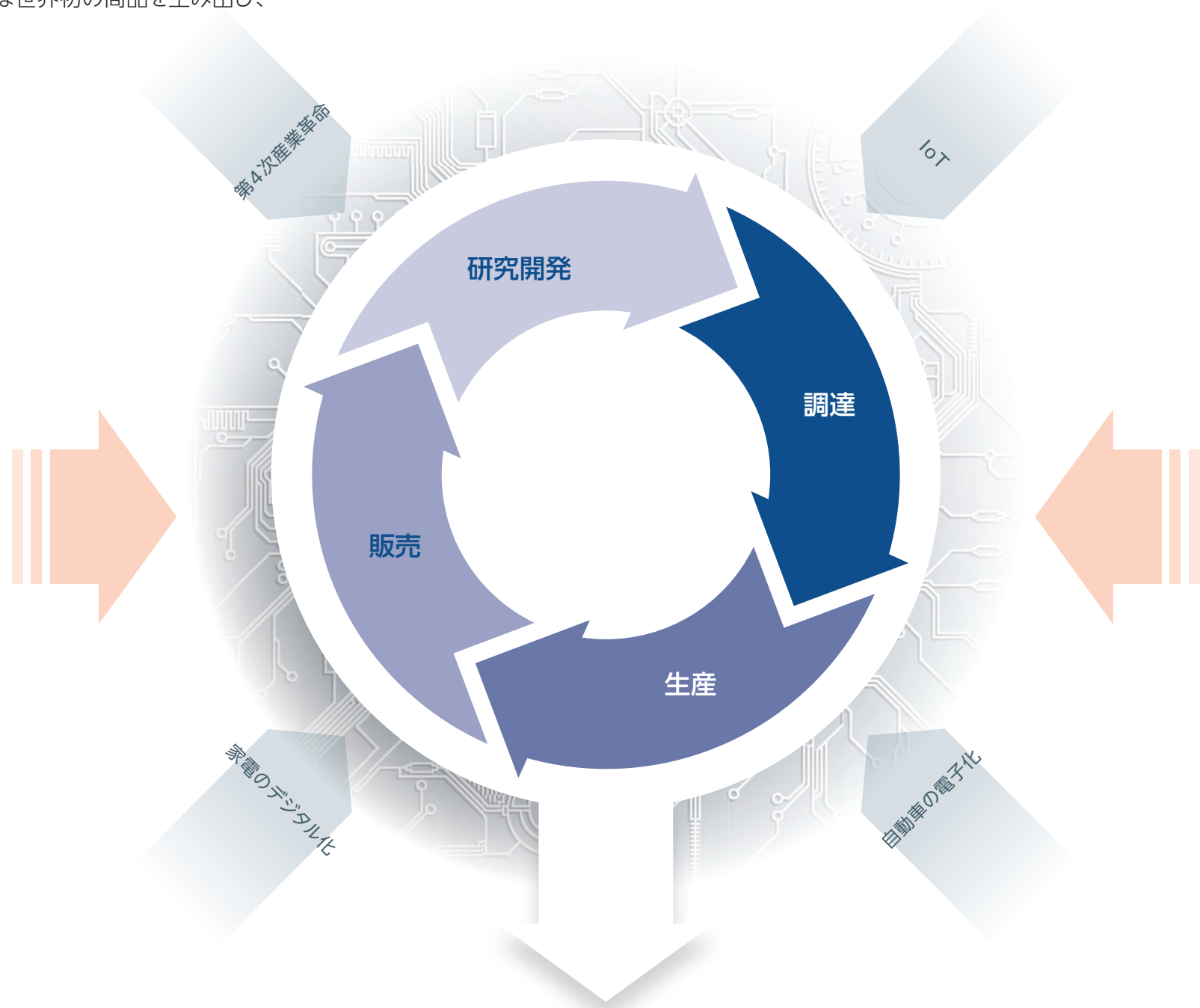
2004
高周波積層チップインダクタ0603サイズで世界最高のインダクタンス値を実現
- 

2006
銅コア採用の画期的な部品内蔵配線板「EOMIN™」を世界で初めて量産化
- 

2013
世界初、積層タイプのメタル系パワーインダクタを商品化
- 

2014
積層セラミックコンデンサで世界最薄の0.11mmを実現
- 

2018
世界初、静電容量1,000μF積層セラミックコンデンサを商品化

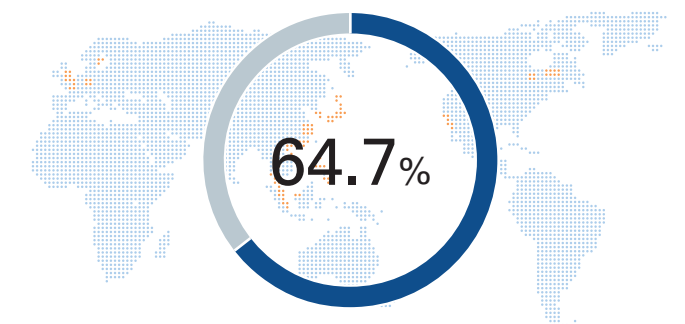


特長

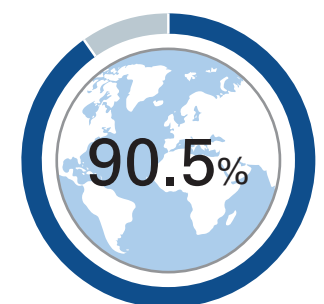
グローバル生産・ 販売体制

太陽誘電は1967年に台湾に初の海外拠点を設立して以来、北米・欧州・東アジアを中心にグローバルに事業を展開し、現在では日本を含め世界15の国と地域で開発・生産・販売を行っています。特に生産面では、ハイエンド商品の海外展開を加速して海外拠点の最大活用を図るとともに、国内外すべての拠点を含めたグローバル最適生産体制を構築しています。

■ 海外生産比率 (2018年3月期)



■ 海外売上高比率 (2018年3月期)



事業活動により創出する価値 → p.34-35 社会的課題へのわれわれの挑戦